

留学先国名 : オーストラリア

留学先学校名 : Sydney Institute TAFE

留学期間 : 平成 27 年 8 月 1 日 ~ 平成 29 年 7 月 30 日

私はオーストラリアで観光学を勉強していました。最初の学期では、実際に旅行会社で働く際に必要なスキルを勉強しました。また、航空券やホテルの予約システムの Amadeus というソフトウェアの使い方なども勉強しました。一学期の中で一番印象的だったのは、お客様の要望を聞いて、旅行プランを立て、それを売るテストです。英語でのセールストークも大変でしたが、お客様のニーズと予算にあったツアーやホテルを選び提案するのがすごく難しく時間がかかってしまい、何度もクラスメイトや先生に練習に付き合ってもらいました。

勉強と私生活の両立にも苦労しました。今までは勉強だけに集中出来たのが、掃除や洗濯、食事の用意、生活費の管理など、一度に沢山の事を考えなくてはいけない状況に慣れるのに時間がかかりました。

二学期では、卸売ツアーオペレーターとしての実践的な勉強をしました。例えば、1 週間のツアーを企画して、料金設定の仕方や利益率の計算の仕方などを勉強しました。一学期の時は、マニュアルなどが決まっていたそれに沿って勉強を進めていきましたが、二学期ではツアーの企画など自発的に進めていく課題が多かったです。自由に自分のペースで出来る分、時間配分を考えて進めていくのが大変でした。二学期で印象に残っていることは、ホスピタリティ学科との合同授業です。ツーリズム学科に比べると人数も多くて、ケーススタディの時に沢山の意見や考え方を聞くことが出来たのが良かったです。

最終学期では、主にマーケティングとマネジメントを学びました。

マーケティングでは、リサーチしてターゲットを絞り、そのターゲットが求めるニーズにあった企画作りの仕方や、出来上がったツアーを発売する時の宣伝の方法などを学びました。二学期の同じ課題と比べると内容がより濃くなっていました。例えば、二学期は、旅行中の予定をまとめ、大体どれだけのコストがかかるかを調べるだけだったのが、最終学期では、ターゲットへのアンケート結果や会社のビジョン、ミッションを考え、ツアーのコストだけでなく、人件費や 1 年間ツアーを行ったと仮定した場合の利益率など全て書き出したりしました。

マネジメントでは、チームをまとめる力やお客様からのクレーム対処方法など、リーダーになった時に必要なスキルを学びました。

また、ローカルの卸売ツアーオペレーターで 3 か月間インターンシップとして働きました。最初は倉庫の整理を手伝ったり、社員の方の電話での対応を聞かせてもらったりでしたが、徐々にお客様のメールの返信やリサーチの仕事を手伝わせてもらえるようになりました。海外支社とのスカイプでの会議などにも参加させてもらったりもしました。

実際に働いてみると、授業で学んできた事も役に立ちましたが、知らなかった事や実践を通して学ぶ

事がたくさんあり、すごく良い経験になりました。最初は何もかも初めての事だらけで大変でしたが、留  
学生活を通して何倍も成長して帰って来られたと思います。学校で学んだ事だけでなく、学校外でも  
沢山の事を学び成長しました。本当に貴重な経験だったと思っています。

(これから留学する皆さんへ)

今までいた場所と全く違う場所に行って、初めての事だらけで大変な思いもすると思いますが、その  
分何倍も得られるものがあります。私は留学中に、何度もあきらめようと思った事がありましたが、今  
では、あの時頑張っていて本当に良かったと思っています。そして、何か大変な事があっても留学中の  
事を思い出すと、あの時頑張れたのだから大丈夫と思う事ができます。大変な事も楽しい事も沢山経  
験して良い留学生活を送ってください。